

中規模建築物事例

# 設計・監理資料集

---

最新補足資料

(最終更新 令和3年1月)



### 1. 最新補足資料について

本最新補足資料は、「中規模建築物事例 設計・監理資料集 令和2年7月時点版」(以下「資料集」という。)の修正箇所等の抜粋資料です。

### 2. 修正箇所等について

資料集における具体の修正箇所等については、以下のルールに従い、次のページ以降に記載していますので、適宜読み替えてご利用ください。

- ・ 資料集のものから差し替える場合、資料集の該当ページを青字で明記
- ・ 資料集に新たに挿入する場合、資料集のページに対応する枝番号を青字で明記  
(例えば、資料集の41ページの後に挿入する場合、41-1と明記)
- ・ 修正箇所等は赤字及び赤線等で記載(変更のない箇所は黒字のまま)

### 3. 修正ページ一覧

最新補足資料では、下記のページについて修正を行っております。

(※最終修正時期 令和3年1月)

章	名称	令和2年7月時点版から修正したページ番号
第1章	1. 設計図書作成マニュアル	5
	2. 省エネ適判申請図書例	41, 45
第2章	1. 工事監理マニュアル	83, 85, 87, 155, 164, 167, 168
	2. 工事監理確認書類例	170

## 資料集 p5 (差し替え)

表1 設計図書への記載項目・記載する設計図書の例

種別	記載項目	記載する設計図書の例
基本情報	計算対象部分の床面積	各階平面図
	計算対象部分の階数・各階の階高の合計	立面図又は断面図
	計算対象部分の外周長さ	各階平面図
	計算対象部分の非空調コア部の外周長さ	各階平面図
	空調対象床面積	各階平面図
外皮	断熱材の仕様、施工部位	各階平面図・立面図
	方位別の外皮面積	立面図
	窓の仕様、施工部位、ブラインド・庇の設置状況	建具表(仕様書)、各階平面図
空気調和設備	熱源機器の仕様、台数等	機器表
	全熱交換器の仕様、台数等	機器表
	全熱交換器の自動換気切替制御	制御図
	予熱時外気取り入れ停止制御	制御図
	2次ポンプの変流量制御	制御図
	空調機ファンの変風量制御	制御図
換気設備	換気設備の仕様、台数等	機器表
	送風量制御	制御図
	換気設備の計算対象床面積	各階平面図
照明設備	照明器具の仕様、設置場所	照明器具姿図、照明設備平面図
	各種照明制御	制御図
	照明設備の計算対象床面積	各階平面図
給湯設備	熱源機器の仕様、台数等	機器表
	給湯配管の保温の仕様、設置部位	特記仕様書
	節湯器具の仕様、設置場所	器具表
昇降機設備	昇降機の制御方式	昇降機設備図
太陽光発電設備	太陽光発電の仕様、設置場所	太陽光発電設備図
コージェネレーション設備	コージェネレーション設備の仕様、排熱利用先	機器表、制御図

※ コージェネレーション設備については、令和3年4月1日以降評価することが可能。

## 資料集 p41-1 (挿入)

## 2.17 コージェネレーション設備 (令和3年4月1日以降評価可能)

コージェネレーション設備は、当面の間、該当する設備が設置されていても、当該設備がないものとして審査・検査を受けることも可能となっている。(モデル建物法入力支援ツール解説 1 参照)。したがって、省エネ計算の対象としていないコージェネレーション設備については、記載を省略してもよい。

なお、下表の「2.17-6 発電効率」及び「2.17-7 排熱効率」に係る設計図書の記載方法には、一次エネルギー消費量計算の内容に応じ、以下の①～③に示す3パターンがある。

- ① 負荷率 100%、75%、50%の各効率を全て記載する場合
- ② 負荷率 100%の効率のみ記載する場合
- ③ 全ての負荷率について効率を記載しない場合

## 1) 記載項目

	記載項目	記載例	記載する設計図書の例
2.17-1	機器名称	GE-1 ガスコージェネレーション	機器表 系統図 制御図
2.17-2	原動機の種別 <sup>※1</sup>	ガスエンジン	
2.17-3	定格発電出力	35.0kW	
2.17-4	台数	1台	
2.17-5	定格発電出力の試験方法	JIS B 8121 による	
2.17-6	発電効率	33.5% (負荷率 100%)	
2.17-7	排熱効率	54.5% (負荷率 100%)	
2.17-8	発電効率・排熱効率 <sup>※2</sup> の試験方法	JIS B 8122 による	
2.17-9	排熱利用先 <sup>※3</sup>	冷房、暖房、給湯	

※1 一次エネルギー消費量の計算対象とできる原動機の種別は「ガスエンジン」のみ。

※2 排熱効率とは、JIS B 8122 に基づくコージェネレーションユニットの熱出力効率をいう。

※3 全ての排熱利用先を明記することが必要となる。なお、排熱利用先に評価対象外の設備・用途等(融雪及び凍結防止用、循環加温用(浴場施設、温水プール)、雑用水利用(食洗器、洗濯機用等))が含まれている場合、モデル建物法では当該建築物のコージェネレーション設備は計算の対象外となるため、留意する必要がある。

資料集 p41-2 (挿入)

2) 設計図書の記載例

<機器表>

機器番号	機器名称	機器仕様		台数	備考
GE-1	ガスコージェネレーション	形式	ガスエンジンコージェネレーション	1	発電出力はJIS B 8121による 発電効率、排熱効率はJIS B 8122による
		定格発電出力	35kW		
		発電電圧	200V		
		周波数	50Hz		
		燃料種別	都市ガス13A(低位発熱量 40.6MJ/m <sup>3</sup> N)		
		燃料消費量	104.5kW		
		排熱回収(温水)	56.9kW		
		発電効率	33.5%(負荷率 100%) 31.2%(負荷率 75%) 27.5%(負荷率 50%)		
		排熱回収率	54.5%(負荷率 100%) 55.5%(負荷率 75%) 57.9%(負荷率 50%)		
		排熱利用優先順位	冷房(R-1) → 暖房(R-1) → 給湯(HW-1)		

2.17-1 機器名称

2.17-2 原動機の種類

2.17-4 台数

2.17-5、2.17-8  
試験方法

2.17-3 定格発電出力

2.17-6 発電効率  
2.17-7 排熱効率

2.17-9 排熱利用先

<制御図>

<CGS排熱利用廻り>

1. 配管切換制御

中央からのモード切換指令により、BV1の切換を行う。  
また、切換動作完了後は動作完了信号を出力する。

<排熱利用先>

冷房時 : 冷温発生器  
暖房時 : HE-1

切換弁異常時、異常信号の出力を行う。

<排熱利用時に於ける配管切換弁の開閉>

	BV1⊕	BV1⊖	
冷房時	開	閉	
暖房時	閉	開	

2.17-9 排熱利用先

## 資料集 p45 (差し替え)

## 1. 計画書の例

(記入例)

様式第一 (第一条第一項関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

計画書

2021年 4月 1日

(株) ●●エネルギー消費性能判定機関 殿

提出者の住所又は 東京都千代田区●●町

主たる事務所の所在地 1-2-3

提出者の氏名又は名称 ●●株式会社

代表者の氏名 代表取締役社長

建築 エネ夫

設計者氏名 設計 太郎

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第12条第1項(同法第15条第2項において読み替えて適用する場合を含む。)の規定により、建築物エネルギー消費性能確保計画を提出します。この計画書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	適合判定通知書番号欄	決裁欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員氏名	係員氏名	

## 資料集 p83 (差し替え)

### 1. はじめに

#### 1.1 趣旨

平成27年7月に、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）が公布され、平成29年4月から、2,000㎡以上の非住宅建築物について、新築時等に建築物エネルギー消費性能基準（省エネ基準）への適合が義務づけられた。また、令和元年5月に、建築物省エネ法が改正され、令和3年4月~~（予定）~~から、300㎡以上の非住宅建築物についても、新築時等に省エネ基準への適合が義務づけられることとなった。

これに伴い、省エネ基準への適合義務の対象となる建築物（義務対象建築物）の設計を行う建築士は、省エネ適合性判定に必要となる設計図書において、省エネ基準に係る建材や設備の仕様等を明示することが必要となる。

また、義務対象建築物の工事監理者である建築士は、設計図書に明示された省エネ基準に係る建材や設備の仕様等のおりに工事が実施されていることを確認することが必要となる。

本マニュアルは、義務対象建築物の省エネ基準に係る工事監理の適正な実施を図るため、工事監理ガイドライン（平成21年9月1日 国土交通省住宅局建築指導課長 事務連絡）に示された工事監理の確認項目及び確認方法について、省エネ基準に係る工事に関し、より具体的に例示することを目的としている。

#### 1.2 基本的考え方

省エネ基準への適合確認にあたりモデル建物法を利用した場合における省エネ基準に係る工事監理の確認項目と確認方法は、モデル建物法における入力内容を踏まえ、表1.2.1のとおり整理される。モデル建物法を利用した場合の具体的な確認方法について、「2. 確認のポイントの例示」において詳述する。

なお、標準入力法を利用した場合における省エネ基準に係る工事監理の確認項目と確認方法は、表1.2.2のとおり整理される。標準入力法を利用した場合においては、標準入力法における入力項目を踏まえ、本書に準じ、適切に工事監理の確認を行う。

また、義務対象建築物については、完了検査申請書に、省エネ基準に係る工事監理の実施状況に関する報告書（省エネ基準工事監理報告書）を添付する必要がある。省エネ基準工事監理報告書の様式例は、別紙2を参照。なお、特定行政庁によっては、別途、様式を定めていることもあるため、実際の完了検査申請を行う際には、事前に、特定行政庁や指定確認検査機関に確認を行う必要がある。

なお、工事監理において、性能値の確認が必要な項目については、完了検査時において、建築主事又は指定確認検査機関より、所定の性能を有していることを証明する書類（第三者認証に係る書類や自己適合宣言書）を求められることがあるため、工事監理者は、書面や製造者のホームページ等により、当該書類の確認を行う必要がある。

この第三者認証に係る書類としては、JIS製品認証書等が該当する。また、自己適合宣言書としては、例えば、JIS Q 1000に基づく当該製品に係る製品規格のJISへの自己適合宣言書や、JIS Q 17050-1に基づく試験方法を示した規格に基づき性能を確認していることの適合宣言書（様式例別紙1参照）が該当する。なお、一般社団法人住宅性能評価・表示協会ホームページ上に用意された「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」は、それらの

## 資料集 p85 (差し替え)

表 1.2.1 モデル建物法を利用した場合における省エネ基準に係る工事監理の確認項目・確認方法

	確認項目	確認方法
外皮	断熱材の仕様、設置状況	・施工計画書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
	窓の仕様、設置状況(ブラインドボックス・庇の設置状況を含む)	・製品ラベルや施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
空気調和設備	熱源機器の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
	全熱交換器の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
	全熱交換器の自動換気切替制御の設置状況	・納入仕様書や自主検査記録書等に係る書類確認
	予熱時外気取り入れ停止制御の設置状況	・納入仕様書や自主検査記録書等に係る書類確認
	2次ポンプの変流量制御の設置状況	・納入仕様書や自主検査記録書等に係る書類確認
	空調機ファンの変風量制御の設置状況	・納入仕様書や自主検査記録書等に係る書類確認
換気設備	換気設備の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
	送風量制御の設置状況	・納入仕様書や自主検査記録書等に係る書類確認
照明設備	照明器具の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
	各種制御の設置状況	・納入仕様書や自主検査記録書等に係る書類確認
給湯設備	熱源機器の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る現地確認または施工記録書等に係る書類確認
	給湯配管の保温の仕様、設置状況	・施工計画書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
	節湯器具の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る立会い確認
太陽光発電設備	太陽光発電の仕様、設置状況	・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認 ・目視に係る現地確認
コージェネレーション設備	コージェネレーション設備の仕様、排熱利用先	・納入仕様書や性能試験成績書等に係る書類確認 ・目視に係る現地確認

※ コージェネレーション設備については、令和3年4月1日以降評価することが可能。

## 資料集 p87 (差し替え)

	確認項目	確認方法
給湯設備	熱源機器の仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
	給湯配管の保温の仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工計画書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
	節湯器具の仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
	太陽熱利用設備の仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
太陽光発電設備	太陽光発電設備の仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
	パワーコンディショナの仕様、設置状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や施工記録書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>
コージェネレーション設備	コージェネレーション設備の仕様、排熱利用先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納入仕様書や性能試験成績書等に係る書類確認</li> <li>・目視に係る現地確認</li> </ul>

※ コージェネレーション設備については、令和3年4月1日以降評価することが可能。

## 資料集 p 155-1 (挿入)

## 2.17 コージェネレーション設備 (令和3年4月1日以降評価可能)

## 1) 確認項目

設計図書の記載方法には、下表の「2.17-6 発電効率」及び「2.17-7 排熱効率」について、以下の①～③に示す3パターンがあり、記載方法によって確認すべき項目が異なるため、最初に設計図書等が①～③のどれに該当するかを判断し、該当箇所の確認作業を行う。

- ① 負荷率 100%、75%、50%の各効率を全て記載している場合
- ② 負荷率 100%の効率のみ記載している場合
- ③ 全ての負荷率について効率を記載していない場合

	設計図書の記載内容	記載例	確認項目
2.17-1	機器名称	GE-1 ガスコージェネレーション	機器名称
2.17-2	熱源機の種類 <sup>※1</sup>	ガスエンジン	熱源機の種類
2.17-3	定格発電出力	450kW	定格発電出力
2.17-4	台数	1台	台数
2.17-5	定格発電出力の試験方法	JISB8121による	定格発電出力が設計図書に記載の試験方法により算出されている旨
2.17-6	発電効率	41.7% (負荷率 100%)	発電効率
2.17-7	排熱効率	32.5% (負荷率 100%)	排熱効率
2.17-8	発電効率・排熱効率 <sup>※2</sup> の試験方法	JISB8122による	発電効率・排熱効率が設計図書に記載の試験方法により算出されている旨
2.17-9	排熱利用先 <sup>※3</sup>	冷房、暖房、給湯	排熱の利用先

※1 一次エネルギー消費量の計算対象とできる原動機の種類は「ガスエンジン」のみ。

※2 排熱効率とは、JIS B 8122に基づくコージェネレーションユニットの熱出力効率をいう。

※3 全ての排熱利用先を確認することが必要となる。

## 2) 具体的な確認方法

標準的な工事監理の概略の流れを下表に示す。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	種類、容量等	納入仕様書(コージェネレーション設備)に係る書類確認
機材納入時	搬入据付状況	目視に係る立会い確認、施工記録書に係る書類確認
試運転後	運転状況	試験成績書等に係る書類確認

## 資料集 p 155-2 (挿入)

標準的な工事監理においては、工事施工者から提出される納入仕様書、施工図等により、コージェネレーション設備が設計図書に定める仕様等に適合していることを確認している。さらに必要に応じて機材納入時の立会い確認、工事施工者から提出される施工記録書の確認、試運転後の試験成績書の確認等を行っている。

省エネルギー基準に係る工事監理においては、上記の確認の際に、1) に示す設計図書の記載内容について確認するとともに、設置状況を確認する。

具体的には、納入仕様書等に、定格発電出力や効率等の試験方法に関する規格等が記載されていることを確認する。その際、工事監理者は、必要に応じ、所定の性能を証明する書類（第三者認証、自己適合宣言書等）を工事施工者に求める。

### 3) 確認する図書の例

確認に用いる書類には、設計図書の記載内容に応じ、1) に示す確認項目が記載されていることが必要となる。具体的には、1) の表で記載する事項を明示した、自己適合宣言書等を製品納入時に受け取り、工事監理者は、設計図書の記載内容と一致していることを確認する。

## 資料集 p164 (差し替え)

## 太陽光発電設備

選択機器名		定義
太陽電池アレイ		JIS C 8951 の測定方法に基づき測定され、JIS C 8952 に基づいて表示された「標準太陽電池アレイ出力」
結晶系太陽電池モジュール		JIS C 8990、JIS C 8918 または IEC 61215 に基づいて記載された太陽電池モジュールの1枚あたりの標準太陽電池モジュール出力
結晶系以外の太陽電池モジュール		JIS C 8991 または IEC 61646 に基づいて記載された太陽電池モジュールの1枚あたりの標準太陽電池モジュール出力
	アモルファス太陽電池他	JIS C 8939 に基づいて記載された太陽電池モジュールの1枚あたりの標準太陽電池モジュール出力
	多接合太陽電池	JIS C 8943 に基づいて記載された太陽電池モジュールの1枚あたりの標準太陽電池モジュール出力

## コージェネレーション設備 (令和3年4月1日以降評価可能)

性能項目	定義	
	規格	項目
定格発電出力	JIS B 8121	定格発電出力
発電効率 (負荷率: 100%、75%、50%)	JIS B 8122	発電効率 (※1)
排熱効率 (負荷率: 100%、75%、50%)	JIS B 8122	熱出力効率 (※1)

(※1) 負荷率は、CGU 定格発電出力に対する CGU 発電出力の比率をいう。

資料集 p167 (差し替え)

別紙3 省エネ基準工事監理報告書

1) モデル建物法を利用した場合における省エネ基準工事監理報告書 (コージェネレーション設備は令和3年4月1日以降評価可能)

任意様式

省エネ基準工事監理報告書(モデル建物法)

様 平成 年 月 日

工事の監理状況を報告します。  
この監理報告書及び添付書類に記載の事項は、事実に相違ありません。

工事監理者 印

物件概要

建 築 主	
工 事 名 称	
敷地の地名地番	

報告内容(以下の項目について申請図書を通り施工されたことを報告します。)

項 目	報 告 事 項	照会を行った 設計図書	確 認 方 法	確 認 結 果
1. 外皮	① 断熱材の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	② 窓の仕様、設置状況(ブラインドボックス、庇の設置状況を含む)		A・B・C ・ ・	適・不適
2. 空調設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	② 全熱交換器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	③ 全熱交換器の自動切替機能の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	④ 予熱時外気取入れ停止制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	⑤ 2次ポンプの変流量制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	⑥ 空調機ファンの変流量制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
3. 換気設備	① 換気設備の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	② 送風量制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
4. 照明設備	① 照明器具の消費電力、台数および取付状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	② 各種制御の設置状況 【在室検知制御・タイマ制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】		A・B・C ・ ・	適・不適
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	② 給湯配管の保温の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	③ 節湯器具の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
7. 太陽光発電設備	太陽光発電の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
8. コージェネレーション設備	コージェネレーション設備の仕様、排熱利用先		A・B・C ・ ・	適・不適

【注意】

- 本様式は、「モデル建物法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象としています。
- 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
- 「照会を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照会を行った図書を記載してください。
- 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。  
A: 目視による立会確認 B: 計測等による立会い確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認

資料集 p168 (差し替え)

2) 標準入力法を利用した場合における省エネ基準工事監理報告書

任意様式

省エネ基準工事監理報告書(標準入力法)

様 平成 年 月 日

工事の監理状況を報告します。  
この監理報告書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者 印

物件概要

建築主	
工事名称	
敷地の地名地番	

報告内容(以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。)

項目	報告事項	照会を行った設計図書	確認方法	確認結果
1. 外皮	① 外壁等を構成している建材の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	② 窓の仕様、設置状況(ブラインドボックス、底の設置状況を含む)		A・B・C	適・不適
2. 空調調設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	② 冷暖同時供給の有無		A・B・C	適・不適
	③ 熱源機器に係る台数制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	④ 蓄熱システムの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	⑤ 2次ポンプの仕様(流量制御方式を含む)、設置状況		A・B・C	適・不適
	⑥ 2次ポンプの変流量制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑦ 2次ポンプに係る台数制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑧ 空調機の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	⑨ 空調機ファンの変流量制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑩ 予熱時外気取入れ停止制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑪ 外気冷房制御の有無		A・B・C	適・不適
	⑫ 全熱交換器の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	⑬ 全熱交換器の自動切替機能の設置状況		A・B・C	適・不適
3. 換気設備	① 換気設備(換気代替空調機を含む)の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	② 換気設備に係る各種制御(換気代替空調機を含む)の設置状況		A・B・C	適・不適
4. 照明設備	① 照明器具の消費電力、台数および取付状況		A・B・C	適・不適
	② 各種制御の設置状況 【在室検知制御・タイマ制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】		A・B・C	適・不適
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	② 給湯配管の保温の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	③ 節湯器具の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	④ 太陽熱利用設備の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
7. 太陽光発電設備	① 太陽光発電の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	② パワーコンディショナの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
8. コージェネレーション設備	コージェネレーション設備の仕様、排熱利用先		A・B・C	適・不適

**【注意】**

- 本様式は、「標準入力法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象としています。
- 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
- 「照会を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照会を行った図書を記載してください。
- 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。

A: 目視による立会い確認 B: 計測等による立会い確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認

## 資料集 p170 (差し替え)

## 省エネ基準工事監理報告書

建築主事又は指定確認検査機関 様

平成 29年 4月 1日

工事の監理状況を報告します。  
この監理報告書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者 設計 一郎

印

## 物件概要

建 築 主	国土 太郎
工 事 名 称	Aビル新築工事
敷地の地名地番	東京都〇〇区

報告内容 (以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。)

項 目	報 告 事 項	照合を行った 設計図書	監理者 確認書類	監理結果
1. 外皮	① 断熱材の仕様、設置状況	・断熱範囲図 ・立面図	A・B ① ・施工計画書	① 適・不適
	② 窓の仕様、設置状況 (ブラインドボックス、庇の設置状況を含む)	・建具キープ ラン・建具表 ・立面図 (庇 の有無)	A・B ① ・施工計画書	② 適・不適
2. 空調設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	・機器リスト	A・B ① ・納入仕様書	① 適・不適
	② 全熱交換器の仕様、設置状況	・機器リスト	A・B ① ・納入仕様書	② 適・不適
	③ 予熱時外気取入れ停止制御の設置状況	・自動制御図	A・B ① ・納入仕様書 ・自主検査記録 書	③ 適・不適
	④ 2次ポンプの変流量制御の設置状況	・自動制御図	A・B ① ・納入仕様書 ・自主検査記録 書	④ 適・不適
	⑤ 空調機ファンの変風量制御の設置状況	・自動制御図	A・B ① ・納入仕様書 ・自主検査記録 書	⑤ 適・不適
3. 換気設備	① 換気設備の仕様、設置状況	・機器リスト	A・B ① ・納入仕様書	① 適・不適
	② 送風量制御の設置状況	・自動制御図	A・B ① ・納入仕様書 ・自主検査記録 書	② 適・不適
4. 照明設備	① 照明器具の消費電力、台数および取付状況	・照明器具姿 図 ・照明設備平 面図	A・B ① ・納入仕様書	① 適・不適
	② 各種制御の設置状況 【在室検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】	・照明制御図	A・B ① ・納入仕様書 ・自主検査記録 書	② 適・不適
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様・設置状況	・機器リスト・器 具リスト	A・B ① ・納入仕様書	① 適・不適
	② 給湯配管の保温の仕様、設置状況	・機器リスト・器 具リスト	A・B ① ・施工計画書	② 適・不適
	③ 節湯器具の仕様、設置状況	・機器リスト・器 具リスト	A・B ① ・納入仕様書	③ 適・不適
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	・昇降機設備 図	A・B ① ・納入仕様書	⑥ 適・不適
7. 太陽光発電設備	太陽光発電の仕様、設置状況	・太陽光発電 設備図	A・B ① ・納入仕様書 ・施工計画書	⑦ 適・不適